

中一 国語

漢文入門 レ点・一二点・送り仮名

---

講師 .. 羽場 雅希

- ◆ 今日の授業で学ぶこと
- ・ 漢文の基礎知識

◆ 漢文とは

「漢文」とは古代中国で発達した書き言葉。

有 耕 田 者 。

（『韓非子』より）

◆ 漢文の基本用語

・ 白文：何もついていない原文のままの漢文。

有 耕 田 者 。

（『韓非子』より）

・ 訓読文：送り仮名や返り点を用いて、漢文の読み方を示したもの。

有<sup>リ</sup>  
ニ  
耕<sup>ス</sup>  
レ  
田<sup>ヲ</sup>  
者<sup>一</sup>。

(『韓非子』より)

・書き下し文・漢字カナまじりの日本文に直  
したものを。  
田を耕す者有り。



読<sup>ム</sup>書<sup>ヲ</sup>。

書き下し文：書を読む。  
現代語訳：書物を読む。

② 一二点

一点のついた字を読んでから二点のついた字に返って読<sup>ム</sup>む。

※二字以上隔<sup>へだ</sup>てて返る。

- |                          |                          |   |
|--------------------------|--------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 1 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 2 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 3 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 4 |

処<sup>ニ</sup>処<sup>ニ</sup>聞<sup>ク</sup>啼<sup>ニ</sup>鳥<sup>ヲ</sup>。

書き下し文：処処啼<sup>てい</sup>鳥を聞く。

現代語訳：あちらこちらから鳥のさえずりが聞こえる。

【第一問】

(1) 次の□に、返り点にしたがって読む順番を数字で書き入れなさい。

ア、  
□  
□  
レ □  
□

イ、  
□  
□  
ニ □  
□  
一

ウ、  
□  
□  
レ □  
レ □

(2) 次の□の中の順番にしたがって返り点をつけなさい。

4

1

2

3

【第二問】

次の漢詩を読んで、あとの問いに答えなさい。

春曉 しゅんげう

孟浩然 まうかうねん

春眠 しゅんみん

春眠 <sup>①</sup>不<sub>レ</sub>覚<sub>レ</sub>曉<sub>ヲ</sub>

処処 しよしよ

処処 <sup>②</sup>聞<sub>ク</sub>啼<sub>ニ</sub>鳥<sub>ヲ</sub>

夜来风雨の声 やらいふううこゑ

夜来风雨声

花落つること知る多少 はなおとしし たしやう

花落<sub>ツルコト</sub> 知<sub>ル</sub>多少

傍線部①・②を書き下し文にしなさい。

① 暁<sub>あかつき</sub>を覚<sub>おぼ</sub>えず

② 啼<sub>ていてう</sub>鳥<sub>を</sub>聞<sub>き</sub>く

(注)「不」は書き下し文にする時「ず」とする。